

平成26年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 生涯学習課

施設名称	〔47〕東京都台東区立根岸社会教育館					
指定管理者の名称	アズビル株式会社	指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等					
(2)類似施設の管理実績	東京都北区滝野川体育施設他35施設					
(3)経営状況	売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益(単位:百万円)			
	24年 59,785	48,150	11,634			
	25年 61,887	49,624	12,263			
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区根岸5-18-13 (根岸図書館1階)					
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を促進する。ラーニングスクエア等の学習機会を提供し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3)利用者	主に社会教育関係団体。					
(4)開館日・時間	開館日:火～日曜:9:00～22:00 月曜:13:00～22:00 休館日:年末年始(12/28～1/4) 設備点検日					
(5)規模	ホール:100名(129㎡) 和室:40名(51㎡) 第一会議室:40名(51㎡) 第二会議室:30名(42㎡)					
(6)人員体制	週40時間勤務 5名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施					
(2)自主事業	4講座実施 延べ14回 延参加人数 261人					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	14,716,000	14,471,000	13,862,000	17,561,000	17,387,000
	利用料金収入	2,020,000	2,130,000	2,250,000	1,800,000	1,880,000
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,736,000	16,601,000	16,112,000	19,361,000	19,267,000
決算	委託料	14,716,000	14,471,000	13,862,000	17,561,000	17,387,000
	利用料金収入	2,238,255	2,085,275	1,852,120	2,044,450	1,941,680
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,954,255	16,556,275	15,714,120	19,605,450	19,328,680
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
年間開館日数		日	342	343	339	340
自主事業等講座数		講座	18	18	17	14
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値(27年度)	23年度	24年度	25年度
利用率		%	43.9	42.3	43.9	41.8
利用人数		人	27,000	26,083	26,641	25,706

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み				
<p>「子どもアートワークショップ」や「初めてのラテンダンス」など、ニーズを踏まえた自主事業を実施し、定員数を上回る応募があった。また、新規参加者率も高く、好評だった。</p>				
8. 評価項目				
		3: 協定等の水準を上回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。	0: 協定等の水準を下回っている。 -: 評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [2] [2] [2] [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)管理経費の効率化	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]
9. 評価				
S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	ニーズを踏まえた自主事業を実施し、利用者サービスの向上に努めている。また、駅に近いことで道案内等の要望が多いことから、近隣の情報収集を行い、接遇研修を生かした適切な案内を行っている。		
(2)施設の維持管理	A	照明器具の間引き点灯など、節電対策を講じている。また、危険箇所の有無について、利用者の目線で危険予知と防御策を講じている。		
(3)利用者の満足度	A	館全体の利用率・利用人数は減少したが、新規参加者率の高い講座や20～30代の若者世代参加者数の多い講座を実施するなど、ニーズに対応した講座の実施に努めており、参加者から好評を得ている。		
(4)収入支出	A	こまめな節電に努めるとともに、館内の小修繕は職員が行うなど経費削減に努力している。		
10. 総合評価				
		妥当	若者世代のニーズに応じた講座を実施するなど、利用者サービスの向上に努めている。省エネ・節電に努めるとともに、利用者の安全に配慮した環境整備など、適切な施設運営を行っている。	
11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応				
<p>若者世代のニーズに応える事業を更に展開するなど、利用者の満足度アップを図っていく。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、多様な言語や文化、オリンピックについての理解や親しみを深める講座の充実を図る。</p>				